

地域の概要

南九州市は、鹿児島県薩摩半島の南に位置し、旧川辺町、旧知覧町、旧額娃町が合併し誕生した。農業が主要産業であり、中でも「茶」は栽培面積・生産量とも日本1位の産地である。

額娃町御領地区にある馬渡自治会は、世帯数163世帯。人口320人、高齢化率48.1%（R5.4月時点）と高齢化が進んでいるが、貯筋運動を取り入れたサロン活動「馬渡女子会」や男性の居場所づくりを目的として発足した刃物とき支援等で活動する「だんだん馬渡」などの活動を通して、高齢者だけでなく、地域のみんが支えあい、活躍できる地域づくりに取り組んでいる自治会。



取組のきっかけ

男性の居場所づくりを目的として発足した刃物とき支援等で活動する「だんだん馬渡」の参加者に、有償ボランティア活動の概要や立ち上げについて説明。有償ボランティアの取組を長く継続していくためには、自治会全体で取り組んでいった方がいいとの意見があり、自治会での総会で説明を行い、実施に至った。

取組の目的

- 気軽に助けてと言える、助ける側も助けられる側も気を使わないですむ仕組みづくり（子ども達の時代になっても）
- 自分ができること、役割を持つことで「やりがい」や「生きがい」づくりにつなげる

これまでの経緯

年・月	出来事
令和4年5月	だんだん馬渡の活動参加者（15名）に有償ボランティア活動の概要や立ち上げについて説明（活動内容や料金等）
令和5年2月	有償ボランティア立ち上げと今後の方向性について、検討協議し、自治会全体で取り組んでいくことを決定。 参加者東馬渡・西馬渡自治会長・だんだん馬渡代表者 2名
令和5年3月	自治会総会にて、住民に有償ボランティアの立ち上げと活動について説明
令和5年3月	お助け隊の募集開始
令和5年4月	だんだん馬渡お助け隊発足・活動開始

活動の概要

額娃町御領地区馬渡自治会（東馬渡自治会、西馬渡自治会）での有償ボランティア活動を実施している。

【活動の流れ】

仕事を依頼する人が事務局に電話等で作業内容を伝え、事務局から作業を受けるお助け隊に連絡をして作業をしてもらう。

【支援できること】

- ・ 燃やせるゴミの運搬（分別は本人）
- ・ 電球・電池の交換
- ・ 庭の草取り・草刈り・庭の掃除・庭木の剪定（高所作業除く）
- ・ 布団干し
- ・ 家周りの片付け
- ・ 田んぼ・畑の草刈り（土手は禁止）
- ・ その他軽微な作業（要相談）
- ・ 台風接近時または通過後の雨戸の開閉
- ・ 鉢花のみずやり
- ・ 近隣の買い物代行
- ・ 簡単な裁縫（ボタン付け・ゴム入れ）
- ・ 郵便投函
- ・ イヌマキの木葉剤散布

【料金】（原則1時間以内）

・ 30分未満 400円 ・ 30分～60分未満 800円

※ゴミ出しに関しては、1回100円など、活動の内容によっては、金額を料金範囲内でその都度勘案する。運搬料、材料費等も別途料金を徴収する。

【活動に関わった人・団体】

事務局には、自治会内の方で、以前自治会長経験のある方が担っている。生活支援コーディネーター、市町村

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

【行政担当者】

- 広報誌等での活動の周知
- 活動の立ち上げ支援（取組の概要や立ち上げ方法の情報提供、活動規約、広報チラシ等の媒体提供）

【SCとしての役割】

- 活動の立ち上げ支援（取組の概要や立ち上げ方法の情報提供、活動規約、広報チラシ等の媒体提供）
- 活動の継続支援（活動しての課題や困りごとの聞き取り、情報共有）

現時点での到達点（効果・課題など）

【効果】

自治会内の身近な場が事務局となり、活動していることで、相談しやすくなっており、依頼数も増え、ちょっとした困りごとを支えあえる活動に繋がっている。

【課題】

担い手の高齢化・固定化があり、お助け隊が継続できるように適宜課題の聞き取りや支援を行っていく予定。